

これからも  
よろしく!

## 私の愛する スタッフメンバーの 皆さんへ



久保 修 ● くぼ おさむ

1985年 昭和大学歯学部卒業

1990年 阿品ファミリー歯科開業

〒738-0054

広島県廿日市市阿品 4-48-17

Tel 0829-36-1818

### ●「心のケア」を大切に

大切なスタッフの皆さん。

私が貴女たちにもっとも伝えたいことは「健康は専門家が作るものでなく、患者さん本人が作るものであり、私たち（歯科衛生士、歯科医師）はそのお手伝いをさせていただきただけだ」ということです。このプロセスのことを「ヘルスプロモーション」（健康支援）といいます。これを提供できるのが、私の目指している理想の歯科医院です。

いまの時代、真に患者さんが求めているものは、歯を削ったり詰めたりする“治療”（Cure）ではなく、お口の病気にならないための“予防”（Care）なのです。

私が考える「ケア」とは、ただ単に病気を予防するということだけではなくて、「心のケア」も含まれます。ですから、私が貴女たちに一番求めていることは、スケーリングのうまさや PMTC の技術ではありません。それらもちろん大切ですが、本当に大切なのは「患者さんがいったい何を望んでいるのか、どうされることが一番嬉しいのか」をつねに考えて行動するということです。

ただ仕事をこなせばいい、さばいていけばいい、という考えではなくて、歯科衛生士が各自の個性を活かし、1人の人間として患者さんに向かい合い、精神的な満足を提供していくという考え方、それが当院の目指す「ヘルスプロモーション型歯科医院」の理想です。

貴女たちが高いレベルの「ケア」を提供できるようになるためには、皆さん自身が、予防の魅力や重要性を理解し、当院のビジョンに共感し、働くことに喜びを感じる必要があります。そのためにも、私自身が精一杯の愛



▲ 研修中の歯科衛生士たち



▲ 私の愛するスタッフメンバー

情を含めたサポートをしていきたいと考えています。

### ● 歯科衛生士が変わると医院が変わる

当院では、本誌で連載執筆中の歯科衛生士・小原啓子先生(デンタルタイアップ主宰)の力を借り、さまざまな実践研修やシステム作りを重ねました。その結果、歯科衛生士の皆さんは見事に私の期待にこたえてくれましたね。貴女たちが日々の問題点を整理し、各自のスキルアップに精進する姿は、いまでもほかのメンバーに好ましい影響を及ぼしています。

たとえば、助手のメンバーは治療内容ごとのマニュアルを作り、動線変更に配慮したうえで機材の再配置を検討してくれました。

また、受付のメンバーは、患者さんに責任をもって対応しようと、リコールカードに担当歯科衛生士の名前を入れたり、待機患者リストを作成したりして、日々改善を目ざしてくれています。また、コストを考え、歯科材料の価格調査も自主的に進めています。

こうしたスタッフの皆さんの自主的な行動で、診療室全体が活性化し、患者さんとのコミュニケーションも多くなりました。とてもありがたいことです。

### ● 私から謝りたいこと

そんな皆さんに、私から1つ謝りたいことがあります。

以前の私は、皆さんがせっかく自主的に仕事のことを考えて取り組んでくれているときに、横から口を出したり、あれこれと指示を出したりしていました。皆さんにしてみれば、逆効果でしたね。私がうるさく口出すたびに、さぞ氣力をそがれたことと思います。人が気づき成長していくには、時間もかかるし、成長の速度も、過程も、個人個人によって違います。マニュアルどおりにはいきません。そのことに私自身、最近になってやっと気づきました。

いまでは、クリエイティブな仕事はメンバーの自主性に任せ、感謝し、認め、褒めたたえるということを心がけるようにしています。そうすることで皆さんを「成長と自立」の方向に導きつつ、真に頼れるリーダーになりたいと思っています。

### ● いつも、ありがとう！

現在、当院を支えてくれているスタッフの皆さん。副院長としていつも温かく見守ってくれる妻。

貴女たちがいなければ、医院は絶対に成り立ちません。皆さんとの出会いは、じつは偶然ではなく、“出会うべくして出会った”必然なのかもしれません。

そんな愛する貴女たちに、この場を借りてお礼の気持ちを伝えたいと思います。

「いつも、ありがとう。そしてこれからもよろしく！」